

合格した職種：市役所職員

1. 大学4年間のうち、各学年で公務員試験に向けてどのような勉強をしていたか

・1年生: まだ具体的な公務員試験の勉強には取り組んでいませんでしたが、社会人としての基礎を学ぶために、大学での学問にしっかり取り組みました。特に法律や経済学の基礎をしっかり身につけることが重要だと感じました。

・2年生: 公務員試験に向けて本格的に情報収集を開始。自分が受けたい試験(地方公務員、国家公務員)の内容や合格基準を調べ、どの科目が必要かを確認しました。

・3年生: 公務員試験に向けた勉強を本格化。市販の参考書や問題集を使って、特に数的処理や文章理解の基礎を固めました。

・4年生: 試験直前には、過去問を徹底的に解き、試験の形式に慣れることを最優先にしました。主に自習での問題演習を繰り返し行いました。

2. 公務員試験を受ける上で役に立った大学の講義

・キャリア数学: 数的処理に苦手意識があり、克服するきっかけになった授業でした。問題にたくさん触れる機会があり、スピード感や解き方などを身につけることができたため、自習の際にも役立ちました。

3. 勉強がつらい時期があったか。またそれをどう乗り越えたか

・辛かった時期: 特に3年生から4年生にかけて、試験が近づくにつれて精神的なプレッシャーやサークル活動やバイトなども掛け持ちしていたため、体力的な疲れがピークに達した時期がありました。毎日同じことの繰り返しでモチベーションが下がることもありました。

・乗り越えた方法: モチベーションが下がった時期には、勉強のスケジュールを見直し、休憩を取り入れるようにしました。

4. 平均して1日何時間くらい勉強したか。また、筆記試験前は1日何時間くらい勉強した

・平均勉強時間: 普段は1日2-3時間くらい勉強していました。試験が近づくと、自然と時間を増やすことができ、1日3-4時間くらいに増やしました。

・筆記試験前の勉強時間: 試験の1ヶ月前からは、1日5時間以上の勉強をするようになり、自身の大学生活とのバランスを重視していました。

5. 役に立った教材(具体的な書名を挙げてもOK)

6. 大学時代もっと取り組んでおけばよかった、勉強しておけばよかったと思うこと

・英語: 英語自体が苦手科目であり、今まで避けてきたことで自分の苦手さを痛感しました。

もっと基礎から固めておけば本番ドキドキすることもなかったのかなと思いました。

・ストレス管理: 勉強に追われているときに、メンタルヘルスの管理が不十分だったかもしれません。リラックスする時間をもっと意識的に作ることが大事だと感じました。

7. 面接の内容

・内容: 面接では、志望動機や自己PRが中心でした。また、なぜ公務員を目指すのか、具体的な目標や実現したいことについて詳しく聞かれました。自己分析がしっかりできていないと答えるのが難しくなるので、事前に自分の強みや弱みを整理しておくといいです。

・時事問題: 面接で時事問題や社会問題について聞かれることもありますので、普段からニュースをチェックし、意見を持つておくことが大切です。

8. 面接対策としてやっておいた方が良かったと感じたこと

・模擬面接: 大学のキャリアセンターを活用して、面接練習しました。実際の面接の雰囲気慣れておくと本番で緊張しにくくなります。ただ、本番面接をする人との相性もあるので、あくまで一般的に聞かれる内容は一通り言えるようになる場所ということ意識すべきだと感じました。

・自己分析: 面接前に、自分の強みや過去の経験を振り返り、どんな質問に対しても柔軟に答えられるように準備しておくことが大切です。

9. その他公務員合格のために大事だと思ったこと

・計画的な勉強: 合格には計画的な勉強が欠かせません。無理に一気に詰め込むのではなく、段階的に学び、復習を繰り返すことが重要です。

・健康管理: 長時間の勉強が続くと体調を崩しやすいため、健康管理に気を使うことも重要です。食事や睡眠、適度な運動を心がけました。

10. 就活についてのアドバイス

・公務員試験に集中するあまり、民間企業の就職活動を後回しにしないようにしましょう。万が一公務員試験に不合格になった場合でも、他の選択肢を持つておくことが大切です。

11. 後輩たちへのメッセージ

・公務員試験は長期戦ですが、着実に努力を積み重ねれば必ず結果はついてきます。焦らず、自分のペースでしっかり勉強を進めてください。また、心身の健康を保つことが何よりも大切です。自分の目標に向かって諦めずに頑張ってください。